



TheSTYLE / Art



西三味

福澤諭吉「西洋事情」挿絵、
1862年刊、岩波文庫

**社行義から幾年
刺風や推法日在**

「西洋事情」の挿絵として知られる西三味は、福澤諭吉の著作「西洋事情」(1862年刊)に描かれた人物である。この人物は、西洋文化を学ぶ者として描かれており、その服装や姿勢から、当時の知識階級が西洋文化をどのように受け取っていたかが窺える。

西三味は、西洋文化を学ぶ者として描かれており、その服装や姿勢から、当時の知識階級が西洋文化をどのように受け取っていたかが窺える。この人物は、西洋文化を学ぶ者として描かれており、その服装や姿勢から、当時の知識階級が西洋文化をどのように受け取っていたかが窺える。

西三味は、西洋文化を学ぶ者として描かれており、その服装や姿勢から、当時の知識階級が西洋文化をどのように受け取っていたかが窺える。この人物は、西洋文化を学ぶ者として描かれており、その服装や姿勢から、当時の知識階級が西洋文化をどのように受け取っていたかが窺える。



虎図

「虎図」(複製) 横山操、1910年代、東京国立近代美術館蔵

KEYWORD

狩町

本誌掲載の狩町は、江戸時代中期に活躍した狩猟画家である。その作品は、狩猟の情景を描き、動物の姿をリアルに表現している。この狩町は、江戸時代中期に活躍した狩猟画家である。その作品は、狩猟の情景を描き、動物の姿をリアルに表現している。



白鶴図

「白鶴図」(複製) 横山操、1910年代、東京国立近代美術館蔵

**狩町の騎馬像
みるみる活躍**

「狩町の騎馬像」は、狩町の代表作の一つである。この作品は、狩猟の情景を描き、動物の姿をリアルに表現している。この狩町は、江戸時代中期に活躍した狩猟画家である。その作品は、狩猟の情景を描き、動物の姿をリアルに表現している。

「狩町の騎馬像」は、狩町の代表作の一つである。この作品は、狩猟の情景を描き、動物の姿をリアルに表現している。この狩町は、江戸時代中期に活躍した狩猟画家である。その作品は、狩猟の情景を描き、動物の姿をリアルに表現している。

「狩町の騎馬像」は、狩町の代表作の一つである。この作品は、狩猟の情景を描き、動物の姿をリアルに表現している。この狩町は、江戸時代中期に活躍した狩猟画家である。その作品は、狩猟の情景を描き、動物の姿をリアルに表現している。

「狩町の騎馬像」は、狩町の代表作の一つである。この作品は、狩猟の情景を描き、動物の姿をリアルに表現している。この狩町は、江戸時代中期に活躍した狩猟画家である。その作品は、狩猟の情景を描き、動物の姿をリアルに表現している。

「狩町の騎馬像」は、狩町の代表作の一つである。この作品は、狩猟の情景を描き、動物の姿をリアルに表現している。この狩町は、江戸時代中期に活躍した狩猟画家である。その作品は、狩猟の情景を描き、動物の姿をリアルに表現している。

忘れられた京都画壇の俊英—木島櫻谷(下)
文展の寵児 100年ぶりに光



かりくら 複製(1879年、東京国立近代美術館蔵)

美の粋